

記入例

様式第1 (第3条関係) (表面)

2部提出
設置日の60日前までに提出

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用、変更) 届出書

〇〇年××月□□日

(宛先) 松戸市長

届出者

氏名又は名称及び住所並びに法人に
あつてはその代表者の氏名
松戸市〇〇〇
××××株式会社
代表取締役 □□ □□
電話番号 000-111-2222

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条) の規定により、
特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	××××株式会社	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	松戸市〇〇〇	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の種類	67 洗濯業の用に供する洗浄施設	※施設番号
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の種類		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。	

様式第 1 (第 3 条関係) (裏面)

第 5 条 第 3 項 関 係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 1 2 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 1 3 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 1 4 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 1 5 のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙 1 の 2 を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。
 - 6 排出水の排出系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

(参考)

届出担当者連絡先	
所 属 ・ 氏 名 : 株式会社●●● 営業部	・ ◆◆ ◆◆
所 在 地 : (〒 123-4567) 松戸市■■■	
T E L : 000-123-4567	F A X : 000-987-6543
E - M a i l : ▼▼▼▼▼@▲▲▲	

別紙 1 (様式第 1 関係)

特定施設の構造

工場又は事業場における 施設番号	①	②
特定施設番号 及び名称	67 洗たく業の用に供する洗浄施設	67 洗たく業の用に供する洗浄施設
型 式	△△△社製 ○△-10X	△△△社製 ○△-20
構 造	ステンレス製 (構造図は第 5 図のとおり)	ステンレス製 (構造図は第 5 図のとおり)
主 要 寸 法	ドラム寸法 直径 660×長さ 450 mm	ドラム寸法 直径 800×長さ 500 mm
能 力	洗たく 10 kg×8 回/日	洗たく 20 kg×8 回/日
配 置	1 階 (第 1 図のとおり)	1 階 (第 1 図のとおり)
設 置 年 月 日	〇〇年 9 月 1 日	〇〇年 9 月 1 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇〇年 8 月 1 日	〇〇年 8 月 1 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇〇年 9 月 1 日	〇〇年 9 月 1 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇〇年 9 月 1 日	〇〇年 9 月 1 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	テトラクロロエチレンを用いたドライ クリーニング機 床面は厚さ 100 mm のコンクリート 周囲に約 10 L の防液堤	水洗機

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における 施設番号	①	
特定施設番号 及び名称	67 洗たく業の用に供する洗浄施設	
設 備	溶剤タンク 回収装置	
構 造	ステンレス製 (詳細は第5図のとおり)	
主 要 寸 法	タンク 300 mm×100 mm×200 mm 回収装置 500 mm×500 mm×300 mm (詳細は第5図のとおり)	
配 置	1階(第1図のとおり)	
設 置 年 月 日	〇〇年 9月 1日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇〇年 8月 1日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇〇年 9月 1日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇〇年 9月 1日	年 月 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における 施設番号	①		②		
特定施設番号 及び名称	67 洗たく業の用に供する洗浄施設		67 洗たく業の用に供する洗浄施設		
設 置 場 所	1階 (第1図のとおり)		1階 (第1図のとおり)		
操 業 の 系 統	第2図のとおり		第2図のとおり		
使 用 時 間 間 隔	8:00~17:00		8:00~17:00		
1日当たりの使用時間	9時間		9時間		
使用の季節的変動	衣替え時期に増加 (春季 4月~5月) (秋季 10月~11月)		衣替え時期に増加 (春季 4月~5月) (秋季 10月~11月)		
原材料(消耗資材を含む。)の 種類、使用方法及び 1日当たりの使用量	テトラクロロエチレン (30L/月)		粉末洗剤 1kg/回×8回 洗浄助剤 0.25kg/回×8回		
汚水等の 汚染状態	種 類 ・ 項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	pH BOD (mg/L) COD (mg/L) SS (mg/L)			9-10 100 150 50	9-10 120 260 55
汚 水 等 の 量 (m ³ /日)	通 常	最 大	通 常	最 大	
			45	60	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	排水水なし				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における 施設番号	A-①								
処理施設の設置場所	第1図参照								
設置年月日	〇〇年	9月	1日			年	月	日	
工事着手予定年月日	〇〇年	8月	1日			年	月	日	
工事完成予定年月日	〇〇年	9月	1日			年	月	日	
使用開始予定年月日	〇〇年	9月	1日			年	月	日	
種類及び型式	自動式								
構造	合金製								
主要寸法	第3図参照								
能力	100 m ³ /日								
処理の方式	中和+凝集沈殿+砂ろ過								
処理の系統	フローシート参照								
集水及び導水の方法	第1図								
使用時間間隔	連続								
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	衣替え時期に増加 (春季 4月~5月) (秋季 10月~11月)								
消耗資材の1日当たりの 用途別使用量	PAC 7kg								
汚水等の汚染 状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	9-10	7-8	9-10	7-8				
	BOD (mg/L)	150	150	170	6				
	COD (mg/L)	180	180	200	11				
SS (mg/L)	50	7	55	8					
量(m ³ /日)	55	55	70	70					
残さの種類、1ヶ月間の種 類別生成量及び処理方法	余剰汚泥 5 m ³ (業者委託)								
排出水の排出方法	第1図参照								
その他参考と なるべき事項	排出先: 国分川								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における 施設番号		排水口			
排出水の 汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
		pH BOD (mg/L) COD (mg/L) SS (mg/L)	7-8 5 10 7	7-8 6 11 8	
排 出 水 の 量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		60	80		
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項					

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別							COD		※
特 定 排 出 水	業 種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)			汚濁負荷量 (kg/日)				
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大	
	216	10	11	45	60			60	0.5	0.4	
	232	10	10	10	10			10	0.1	0.1	
	合 計	20	21	55	70			70	0.6	0.5	
特 定 排 出 水 以 外 の 排 出 水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
		5	6	5	10	0.025	0.06				
	合 計	5	6	5	10	0.025	0.06				
な る べ き 事 項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別							N		
特 定 排 出 水	業 種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大	
	216	7	9	45	60			60	0.3	0.5	
	232	10	10	10	10			10	0.1	0.1	
	合 計	17	19	55	70			70	0.4	0.6	
特 定 排 出 水 以 外 の 排 出 水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
		4	5	5	10	0.02	0.05				
	合 計	4	5	5	10	0.02	0.05				
な る べ き 事 項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

								指定項目の別	P		
特 定 排 出 水	業 種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大	
	216 232	0.31 0.85	1.05 0.85	45 10	60 10			60 10	0.01 0.08	0.06 0.08	
合 計	1.16	1.9	55	70			70	0.09	0.14		
特 定 排 出 水 以 外 の 排 出 水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
		0.4	0.5	5	10	0.002	0.005				
合 計	0.4	0.5	5	10	0.002	0.005					
な る べ き 事 項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>添付第2図参照</p>		
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>工業用水</p>	<p>地下水</p>	<p>45</p>
	<p>生活用水</p>	<p>上水</p>	<p>10</p>
	<p>間接冷却水</p>	<p>地下水</p>	<p>5</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における 施設番号	アー①	
有害物質使用特定施設 又は有害物質貯蔵指定 施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
型 式	貯蔵タンク (△△△社製 ○△)	
構 造	ステンレス製 (第 5 図のとおり)	
主 要 寸 法	1000 mm×1000 mm×1500 mm	
能 力	貯蔵量 1500 L	
配 置	1 階 (第 1 図のとおり)	
床 面 及 び 周 囲	内面は厚さ 1000 mm のコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止	
設 置 年 月 日	〇〇年 9 月 1 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇〇年 8 月 1 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇〇年 9 月 1 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇〇年 9 月 1 日	年 月 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における 施設番号	アー①	
有害物質使用特定施設 又は有害物質貯蔵指定 施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設 備	なし	
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	〇〇年 9月 1日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 8月 1日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 9月 1日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 9月 1日	年 月 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における 施設番号	アー①	
有害物質使用特定施設 又は有害物質貯蔵指定 施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設 置 場 所	1階（第1図のとおり）	
操 業 の 系 統	廃液の貯蔵	
使 用 時 間 間 隔	1ヶ月に1回	
1日当たりの使用時間	5分/回	
原材料（消耗資材を含む。） の種類、使用方法及び 1日当たりの使用量 （有害物質使用特定施設 の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類 （有害物質貯蔵指定施設 の場合に限る。）	テトラクロロエチレンを含む廃液	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	廃液は年1回の頻度で、産廃として処 理を委託している。	

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<p>搬入：テトラクロロエチレンを含む廃液を1ヶ月に1度貯蔵タンクに搬入 搬出：産業廃棄物処理業者が回収</p>		
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量(m³/日)</p>

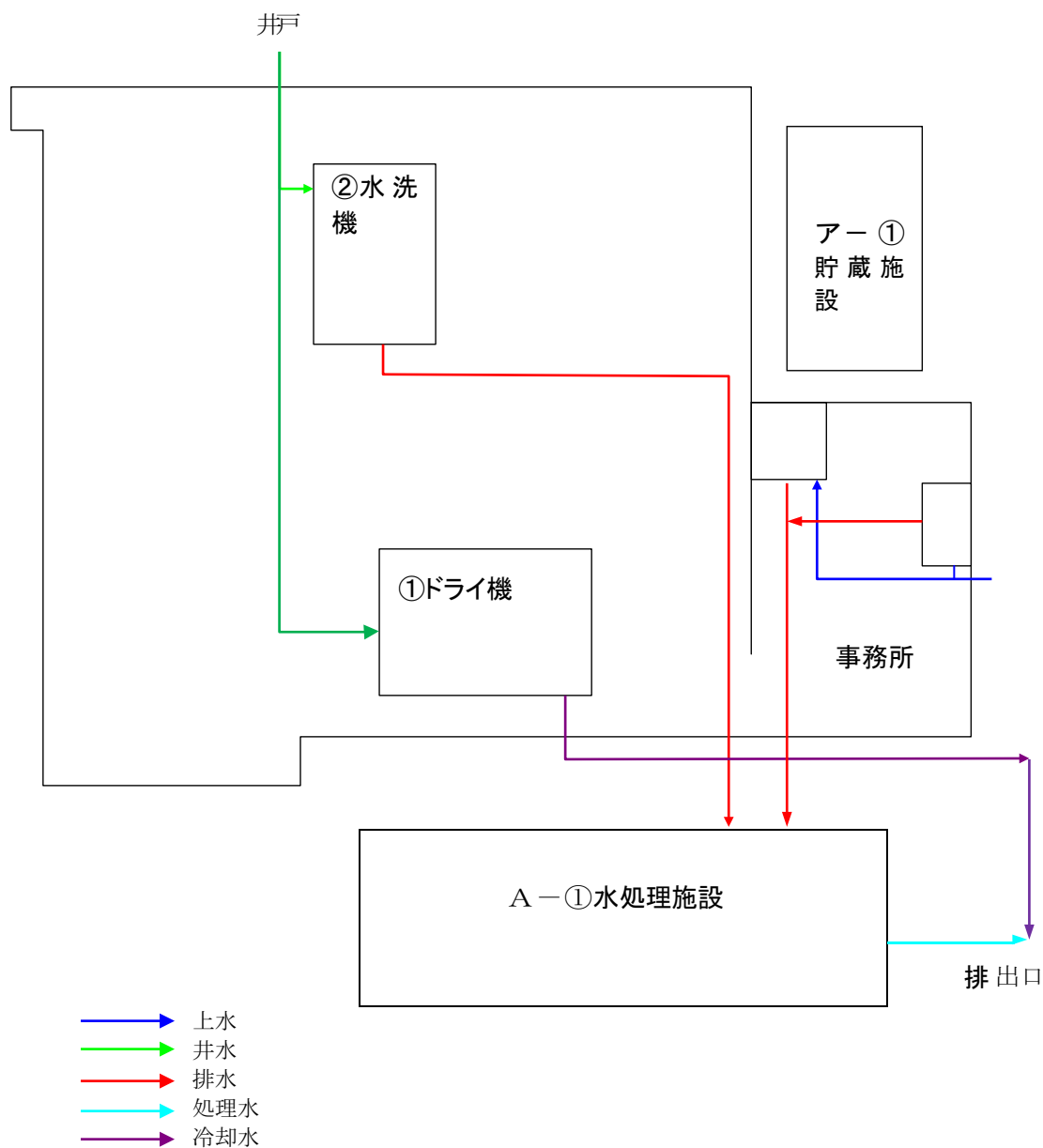
備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

1. 事業場平面図

(第1図)

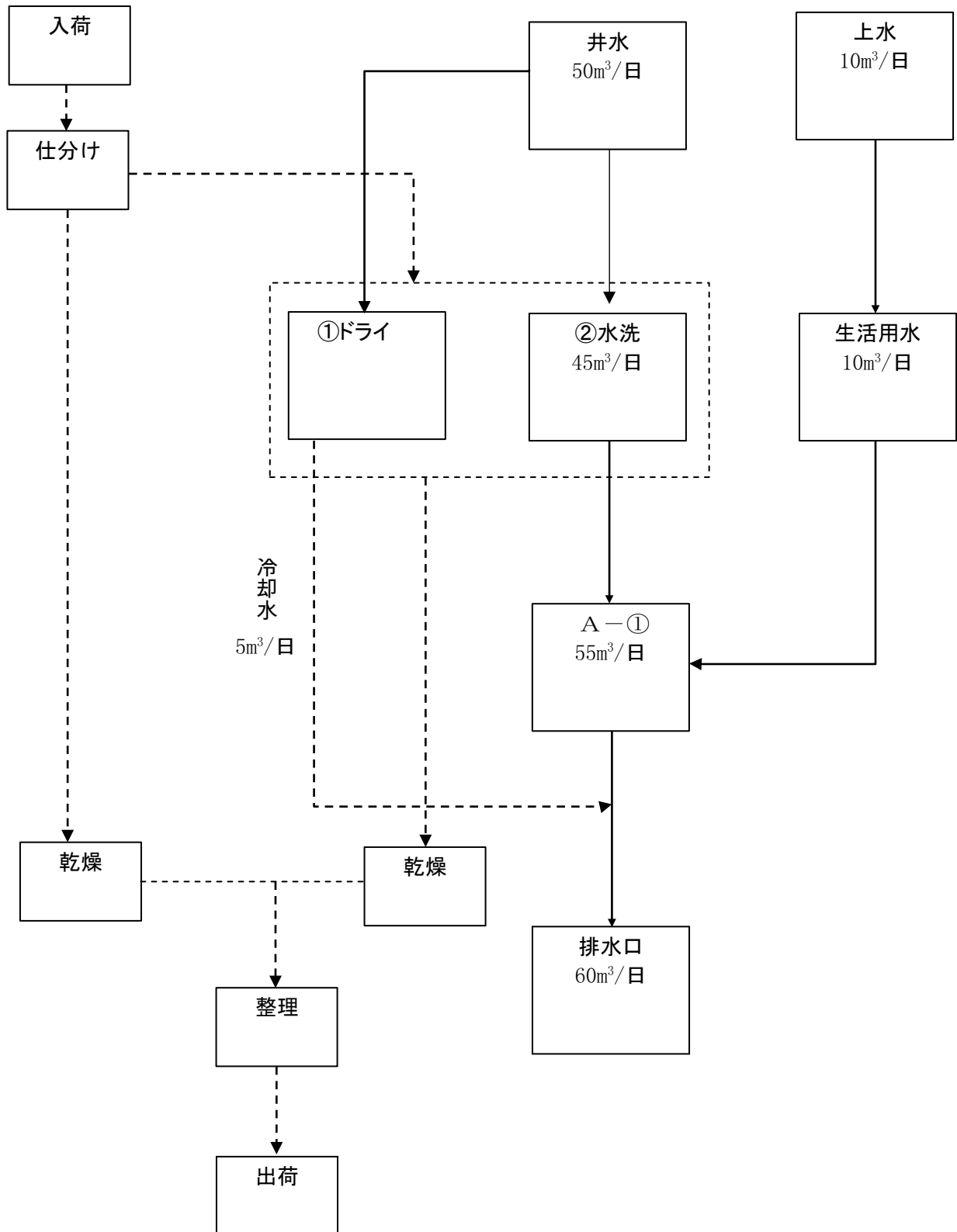
(特定施設、処理施設の設置場所、集水及び導水の方法、排出水の排出方法)

※事業場平面図に書き加えます。



2. 特定施設を含む操業の系統図

(第2図)



3. 汚水等の処理の系統図及び処理施設の主要寸法

(第3図)

添付資料（業者の計画書）参照

4. 事業場の位置及び排出水が主たる
公共用水域へ至るまでの経路

(第4図)

※地図を添付の上、河川までの流路を記入します。